

永遠に光り輝いて

# みんなと MAYA MAXX展

2025年

4月29日(火)

↓

6月1日(日)

## 今治市河野美術館

開催時間|9:00 - 17:00

休館日|月曜日(祝日の場合は原則翌日振替)

観覧料|無料

### 関連プログラム

#### 開展式・ギャラリートーク

2025年4月29日(火・祝) 10:00 -

MAYAMAXX\_Luce 代表 来嶋 路子ほか

#### 移動展(一部作品)

2025年6月18日(水) - 7月13日(日)

9:00 - 17:00 (月曜休館)

大三島美術館(小展示室)

※観覧には常設展示観覧料が必要です。

共催:今治市・一般財団法人今治文化振興会

協力:MAYAMAXX\_Luce

永遠に光り輝いて

# みんなとMAYA MAXX展

このたび、今治市河野美術館では本年1月9日に逝去した今治市出身の画家MAYA MAXXの追悼展を開催いたします。MAYA MAXXは27歳から独学で絵を描きはじめ、1993年の初個展を機に「MAYA MAXX」の名で活動を始めます。その後、絵画にとどまらず、本の装丁やCDジャケットのデザイン、絵本創作、テレビ出演など多岐にわたり活躍しました。

2020年より北海道岩見沢市の美流渡地区に移住し地域と関わりながら製作活動を続け、地元今治でも今治応援大使として人と人、人と地域を繋ぐ活動にも力を注いできました。

本展では追悼の意を含め、これまでの活動を紹介するとともに、美流渡に移住後、闘病の合間に病室で最後に描いた作品を含む今治初公開の作品75点を展覧いたします。



## MAYA MAXX マヤマックス

愛媛県今治出身。

画家。今治応援大使、伊予観光大使。

1961年生まれ、1985年早稲田大学教育学部卒業、1993年にMAYA MAXXとして活動を開始。

個展開催のほかワークショップ活動や絵本の刊行も多数。

2013年には優れた書家と作品をたたえるために創設された第8回手島右卿賞を受賞。

2020年春より北海道岩見沢市の美流渡地区に拠点を設ける。

新しいプロジェクト「Luce(ルーチェ)」をスタートさせる。

2025年1月9日、肺癌のため北海道札幌市内の病院にて没。



開展式・ギャラリートーク 2025年4月29日(火・祝) 10:00 -

## MAYA MAXX の残してくれたものとは？ 愛媛と北海道をつなぐ未来のトーク

MAYAMAXX\_Luce 代表 来嶋 路子

来嶋 路子 くるしま みちこ

編集者。森の出版社ミチクル代表。みる・とーぶプロジェクト実行委員会委員長。MAYA MAXX\_Luce 代表。  
1998年、美術出版社入社し、『みづゑ』編集長、『美術手帖』副編集長などを務める。2011年に北海道へ移住。岩見沢市に8ヘクタールの山を購入したのをきっかけに、独自の本づくりを開始。山購入の経緯をまとめたイラストエッセイ『山を買う』を刊行。人口わずか300人の集落・美流渡地区で2017年に『森の出版社ミチクル』を立ち上げる。同時に岩見沢の山あいのエリア・東部丘陵地域をPRする「みる・とーぶプロジェクト」も実施。2020年、画家・MAYA MAXXの北海道を拠点にした活動を支える「MAYA MAXX\_Luce」を始動し、作品の展示や制作活動に携わる。  
2015年よりマガジンハウスウェブ「colocal」でエコビレッジをテーマにした連載を10年続ける。  
このほか、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師、公益財団法人北海道文学館評議員、そらち森林組合理事を務める。

移動展（一部作品）

2025年6月18日(水) - 7月13日(日)  
9:00 - 17:00(月曜休館) ※観覧には常設展示観覧料が必要です。

大三島美術館(小展示室)

〒794-1304 愛媛県今治市大三島町宮浦9099-1 tel. 0897-82-1234  
<https://www.city.imabari.ehime.jp/museum/omishima/>

## 今治市河野美術館

〒794-0042 愛媛県今治市旭町1-4-8 tel. 0898-23-3810  
<http://museum.city.imabari.ehime.jp/kono/>